

論点メモ

(第5回 都市自治体における子ども政策に関する研究会)

2016年6月27日

(公財) 日本都市センター研究室

論点1 少子化問題と子ども政策

- ・出生率低下に伴う少子化問題
- ・これまでの施策と動向
- ・国と都市自治体の役割分担
(子ども子育て支援新制度による地域特性に応じた施策の展開)

論点2 都市自治体における現状と課題の把握

○大都市圏・大都市郊外地域・地方圏

それぞれにおける子ども政策の現状と課題

- ・大都市圏
…育児に関する経済的な負担が特に大きい。また待機児童問題の他、多様な保育ニーズが存在する。
- ・大都市郊外地域
…転入世帯が多く孤立化が問題。共働き世帯が多く、大都市圏と同じく待機児童の問題等がある。
- ・地方圏
…人口流出地域が多く、地域の実情に応じた子育て支援が必要。

<課題>

- ・育児負担の増加
(経済的不安、核家族化、仕事と育児の両立困難、等)
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・未婚化、晩婚化への対応
- ・多様な保育ニーズ(病児(後)保育、一時保育 等)への対応
- ・移住定住施策
- ・サービスの多様化に伴う情報の複雑化

等

- 自治体間における出生率格差の要因分析 [アンケート調査・統計分析調査]
 - ・ 保育環境（幼保公私の比率、認定子ども園導入状況 等）
 - ・ 子ども子育て支援新制度における取組み
 - ・ 保育の質の確保に関する取組み
 - ・ 子ども政策に関する予算配分（子ども子育て支援新制度関連）
 - ・ その他独自事業

- 具体的な取組み及びその成果と課題について [現地調査]
 - ・ 伊那市における取組み
 - 保育の質の確保を重視。地域全体のサポート体制の強化を図っている豊かな自然等地域特性を活かした「がるがるっ子」育成保育の実施
 - ・ 福岡市における取組み
 - 待機児童対策（7631人の定員増（H23→H27）、保育士の確保 等）
 - 多様な保育ニーズへの対応
（母子の健康問題、病（後）児デイケア設置 等）
 - ・ 浦安市における取組み
 - 妊娠期から始まるきめ細やかなサポート体制の充実（浦安版ネウボラ）
 - 市内の多様な主体と連携した様々な取組み（不妊治療・婚活支援等）
 - ・ 松戸市における取組み
 - 利用者支援事業（基本型・特定型）、地域子育て支援拠点事業の充実
 - 小規模保育の大幅増設及び連携園の確保による待機児童の解消

論点3 都市自治体における今後の子ども政策のあり方

- ・ 多様な主体（国・都道府県・地域社会・NPO・企業 等）との連携と分担
 - 地域特性に応じた子育て支援の推進
 - 地域と連携した子育て支援
（子ども子育て会議、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業 等）
 - 地域間の協働による広域的な子ども政策のあり方
 - 都市間の連携と役割分担
 - 移住定住政策のあり方

- ・ 出生率向上及び子どもの健全育成に向けた子ども政策のあり方
 - 保育環境（待機児童対策、認定こども園、多様なニーズ、質の確保 等）
 - 経済基盤（未婚化晩婚化、多子世帯支援、ワークライフバランス 等）
 - 情報発信（見える化の促進 等）

等